明治四十一年十二月三十日第三種郵便物認可）（日刊）日曜及祭日の翌日休刊　明治四十二年八月十七日（火曜日）　第百八十九號（一）

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

●本年日韓の暑氣（觀測所報告）

本年七月中旬以來內地に於ては近年稀に見る所の氣溫を呈せり從來日本に於て日陸の最高氣溫にして華氏百度以上に昇りしことは極て寡く唯明治二十六年七月二十六日熊本（百度二分）同年同月二十五日岐阜（百度七分）明治三十五年九月八日金澤（百一度三分）明治三十六年六月十六日臺東（百度二分）の四回ありしのみにて金澤の百一度三分を以て全國中の絕對最高氣溫と爲せり然るに本年に在ては七月十四五日頃より關西北陸地方は俄に高溫となり殆んど三週間は連日九十度以上に昇りしのみならず八月に入りては一層酷熱となり四日より五日に渉りては百度以上に昇り遂に八月六日新潟に明治五年日本測候事業開始以來未た曾て見さる所の最高溫度百二度四分を生したり

韓國に於ては明治三十七年以前に正確なる觀測を缺くと雖も既往五年間の成績に依れは明治三十七年六月廿六日元山に於ける百度八分を以て最高とし同四十一年八月五日大邱に於ける百度之に次くものとす而して本年は七月中旬までは寧ろ平年より低度なりしも下旬よりは氣溫俄に昇騰し各地とも平年以上の高溫を示し大邱は二十一日に九十八度一分元山は二十七日に九十七度城津は二十五日に九十五度九分となり又八月に入りては暑氣は一層激增し北部滿州の地方を除くの外は連日九十度以上に昇れり唯最高氣溫は京畿方面に於て著しき增昇を見たるのみにて京城は八日に九十五度九分仁川は十日に九十三度二分を示し其他に在りても本月に最高氣溫を見たり今本年八月十一日までの各地最高氣溫及ひ其起りを示せは左の如し

地名	本年最高氣溫	同上起日
釜山	九〇、三	七月廿八日
木浦	九二、五	八月六日
大邱	九八、一	七月廿一日
仁川	九三、二	八月十日
京城	九五、九	八月八日
平壤	九一、九	八月九日
元山	九七、〇	七月廿七日
城津	九五、九	七月廿五日
龍岩浦	八八、五	八月七日

地名	既往五年最高溫	同上起日
釜山	九二、五	三十九年七月廿七日
木浦	九三、四	三十九年八月六日
大邱	一〇〇、〇	四十一年八月五日
仁川	九四、三	四十年八月五日
京城	九二、五	四十一年八月六日
平壤	九五、九	四十年七月廿四日
元山	一〇〇、八	三十七年六月廿六日
城津	八九、六	四十年六月一日
龍岩浦	九二、五	四十一年六月廿三日

文苑

▲去年の今夜　伊豫の守

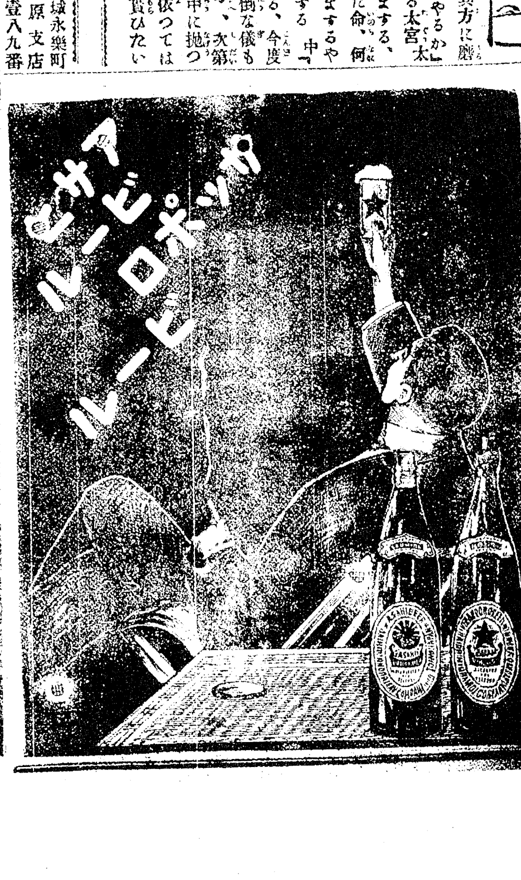
世は無情なりけり、去年の今夜親しかりし琴子孃と手を取りて、アノ大川端の夕涼み、月はなかりしも、空に白き銀河は大川の水面にキラ〳〵と移り二人の影は波に搖られて永く〳〵向の岸に屆きぬ、斯くて二人は末永く兄妹の誓を結びたりき、一葉落ちて天下秋を告げ九月の半ば過ぎ不圖した病附きより日比纖弱き琴子孃は手厚き介抱も藥師の効も見へずして歸らぬ旅へと赴きぬ、美人薄命とは誰が言いしぞ、紀念のハンカチーフは今尚ほ茲にあるものを アー世は無情なりけり。



第廿六席　桃川燕玉演

太宮淺野は早くも之を聞いたからサア驚いた、平常から御氣象の勝つて居る中山大納言、密通を致したなんと云ふ事が分つたら迚も無事では濟むまい、そこで兩人覺悟をして御前へ控ゑて居る 中「コリヤ太宮 太「ハヽッ 中「淺野 淺「ハイ 中「汝等は怪しからぬ奴、不義を働いた由である、全くそれに相違ないか」太宮は謹んで 太「誠に恐入り奉ります、大恩を頂きました君の御寵愛の婦人と情を通じました、全く是は太宮が誤り重々の大罪、申譯の致し方もございませぬ、どうか御手討に遊ばし下されるやう、速に君の御佩刀の錆となつて申譯を致しまする」淺野と云ふ女も 淺「恐れながら申上げます、是は池西殿は何にも御存知ない、私の心得違ひから斯樣なる不都合を働きました何卒自を御手討に遊ばし太宮殿を御助けを願ひます 太「イヤ〳〵淺野殿は何事も存じませぬ、此太宮が甚だ宜しくございませぬ、太宮めを御手討に遊ばし、淺野殿は寛大の御慈悲を以て御助け下し置かれるやう、偏に願上げ奉りまする」兩人の顔を暫く御覽遊ばし 中「扨々其方共は不都合の奴だ、淺野は太宮を庇ひ太宮は淺野を庇ひ、互に罪を己に歸して茲を免んとする、不屆の奴だ、望み通り兩人共手討にする、覺悟致せ 兩「恐入りました、有難く御手討に相成ります」と兩人其處に座りまする、御佩刀の柄へ手が掛つてキラリと鞘を拂つたのが夏尚寒き氷の刄、太宮淺野の目前に差出し 中「サア是を以て汝等の首を斬るが宜い か 兩「恐入りました 中「覺悟を致せ」後へ迴つて中山大納言御佩刀を眞向に振被つて兩人の樣子を見るに、女と云ふものは扨斯う云ふ時には度胸の宜いもの、却て男から見まするに女の方が恐ろしい。逃れ難ない場所と覺悟をしたものと見えまして、兩手を合せて頸差伸ばし、口の中に念佛を唱へ陀と覺悟をした樣子、太宮に於ても惡びれる氣色もなく 太「イザ御斬り遊ばせ」と己れが頸を差伸ばす、暫くの間樣子を御覽なすつた大納言も御佩刀を鞘に納めまして 中「太宮……淺野 兩「ハイ 中「其方共は不屆な奴、只今此處で斬つて捨てべきだが、併し左樣致しては座敷を穢さねばならぬ、結句汝等二人と思へば腹も立つ、飼犬に手を噛まるゝと云ふ譬がある、汝等は犬に等しき奴、命は助け遣す、早々出て參れ、速に當地を立退け 兩「ハヽッ有難い仕合せ」と兩人互に夢ではないかと喜んだ 中「早々立て、早う行け 兩「有難い仕合せに存じます、此の程は忘れは致しませぬ」と涙と共に兩人そこ〳〵御前を立つて次の間へ退りまするど、中山樣の奧方が此池西太宮を召されまして 奧「此れを御舘から下されたから持つて御出で」と一包の金、續いて衣類大小悉皆下すつた、涙を流して厚く御禮を申して、二人の者は此處を立退きましたが、兩人相談をした「實にどうも有難いのは大納言、吾々は今日御手討ちになつて、死ぬ命を助けられ、此御恩は是非返さんければならぬ、遠くに居ては何かの時に間に合はぬから、何でも近間に居て、御舘樣の事のあつた時に驅付けて、命を捨てゝ此御恩返しをしやう」と兩人が相談をして粟田口へ參りまして、此處に家を求めまして足を留める、太宮は異影流の劍術無雙の達人でございますから、劍術の指南を初め、女房の淺野、此は活花茶の湯裁縫は勿論の事、女の藝術悉く達して居ります婦人、近所の娘達を集めまして是も茶の湯活花、其餘種々の藝を教へる、サア大層弟子達が殖ゑまして、結句今日は安樂な身の上になつたすると內に淺野が懷姙になりまして男の子を一人產みました、小彌太と名を命けまして、折があつたら中山樣へどうか御出入りをしたい、どうぞ御出入を致したいと、うればかり頻に祈つて居りましたが、扨好い場合もございませぬ、さ京都の大火、幸ひと云ふので第一番に驅付けました太宮淺野の夫婦、どうも一生懸命の働きを致す、それが爲段々御取成をする人もあつて、只今では御出入りが相叶ふやうになつて、太宮夫婦親子の者が、中山樣へちよい〳〵御機嫌伺ひに出ます、此池西太宮と云ふ者を中山樣が御招きになつた、取敢へず伺候致した時に 中「扨太宮、其方に願ひがある、聽いて吳れやるか」太宮御疊にひつたり面を摺付けました 太「これは勿休至極もなき仰を承りまする、私の一命は中山殿に差上げました命、何事なりとも速に御沙汰あらせられまするやう、命を拋つて御奉公を相勤めまする 中「アヽ其方の志は誠に過分に存する、今度歷關東へ下向を致す、是はちと面倒な儀もあらん、故其方に供を申付ける考、次第に依つては愛親の一命は江戸の殿中に拋つ考である、されば其方も次第に依つては命を愛親に遣はす考で供致して貰ひたいがどうぢや」







京城新報

東拓法及定款改正

始め東洋拓殖會社設立の議あるや世間は熱心に之を歡迎せり、次で法律第六十三號を以て東洋拓殖株式會社法發布せられ政府は八ヶ年に亘りて補給金年額三十萬圓を下附するの案を立つるや、世人は之を以て寧ろ其補給額の寡少に失するを疑いたる程なり、而して愈々同會社創立の事發表せらるゝや、世人は殆ど狂熱の狀態を以て株式募集に應じたり、其應募高は實に三十倍に達したり、依是觀之世人が同會社に對して有せる所の好感が如何に甚大なりしかを知るに足らむ、熱し易くして亦醒め易きは如何に我國民の缺點なりしとは云へ斯く迄に熱狂的の歡迎を受けたる東洋拓殖會社が今は殆ど世人の腦裡より遺忘せられたるが如き狀あるは之れ果して何故ぞや、世人と會社とは過去半年の間常に何等の交渉を保たず、世人と會社との意見に聽く所なく終に形影相見ざるに至り今日の狀態となれり、然れども會社は此の如くして單純なる營利會社にあらざるは言ふまでもなく、國家の目的に從ひ在韓移住民の發展を計るの公機關たるを信じ、假令頑冥なる總裁が之を鎖ざすと雖も我々は[illegible]今の時に於て同會社の將來の爲めに一の卑見を陳せざるを得ず、そも卑見とは何ぞ、曰く東洋拓殖株式會社法及定款の改正是れなり、拓殖法第十三條第二項の末文に「第一項第二號乃至第五號の貸付金額は拂込資本額及債券發行額の合計の五分の一を超ゆることを得ず」此規定に準じて定款第五十四條第二項の末項にも又同様の條文あるが、惟ふに創立當初に於て創立委員の面々は實務に迂濶なりし爲に如何に前記の條項が拓殖事業の妨害となるべきやを悟らざりしならむ、今更余輩の言を俟たずとも、既に今日に於ては此五分の一の規定ある爲めに其資本の全部を貸付金として活用すること能はず、加之將來に於て社債を募集するも之亦五分の一以上は貸付金として活用すること能はざる也、斯の如くんば啻に余輩の豫期に反するのみならず、到底何時も世人の豫期に適合する時は來らざるべし。

抑も余輩は始めより東拓會社を以て拓殖銀行の仕事を爲す可きものと信じたり、故に創立者及政府も亦余輩と同一の考を有せしことは事實ならむ、然らば斯る妨害となるべき條文は一日も早く改正して、資本金及社債の大部分を貸付金として活用し得るに至らしめざる可らず、この改正は寧ろ必要なるを以て來るべき議會に案を具して提出し之を通過せしめざるべからず、此法案にして議會を通過すれば定款改正の如きは優に爲し得べきを信ず、敢て希望を開陳して當局に勸告するもの也。

東京電報

▲近江地方の大地震　十四日午後三時半より關西地方に大地震あり近江近傍の被害最も慘烈を極め伊吹山大崩壞を爲し淺井郡のみにて死者三十一名負傷七十四名家屋全破壞四百十五戶半破壞九百五十三戶を出せり其他各郡の被害亦甚しく目下調査中なり又大垣地方も震害酷だしく委細後報すべし（十五日午後四時四十五分發）

▲韓銀覺書の公表　韓國中央銀行に關する日韓兩政府間協定の覺書は本日午後三時公表せられたり（同上）

▲近江震災の後報　其後の調査に依れば地震の爲め伊吹山崩壞して灰を降らすこと夥しく巨巖山上より墜落し損害多大にして昨夜も尙ほ引續き地震ありたり（十六日着）

▲宮崎縣下大風害　宮崎縣下大風あり家屋の倒潰するもの百餘即死十五名負傷十二名に達し人心恟々たり（同上）

▲滋賀震災の續報　滋賀縣に於ける震災慘狀甚だしく全潰家千二十八戶半潰家屋二千四百十八戶にて震災民は[illegible]避難し居れり（十六日）

▲本年の米作豫想　農商務省の調査に依れば本年の米作は平年作以上の見込なり（同上）

北京電報

▲西太后葬の決定　西太后の葬儀は淸曆九月七日に執行することに決定されたり（十六日）

雜報

●國土還給の方針（還給請願者の續出）　近時國有地中元私有地なりとの理由を以て還給を請願する者續出し就中光武二年後の[illegible]も內藏院卿が宮內府歲入の增加を圖る爲め何等の代償を爲さず强力を以て民土を奪去したる者にして人民は訴ふる所なくして今日に至りたる者なれど施政改善し百事歸正の今日に當りて特に民土に復歸せしめられたしと云ふにあり請願者の言ふが如き事情の存じたるものもあるべければ當局に於ては一旦公力を以て官有に編入し十余年來何等の支障なく收租したるものと雖も其起原を推考し證據明確なる者に對しては還給する方針なりと然れども此の如くせば請願者中の七八は悉く還給せざる可らざるに至り延て國庫の收入にも影響すべく還給の標準に就ては目下考究中なりと

●韓國會計法改正（目下法文の制定中）　韓國現行の會計法規は目賀田顧問時代の制定に係り同顧問が財政整理の第一着手として情實纏綿せる從來の惡弊を破らんには先づ嚴乎なる法規を以て律せざるべからずとて日本の現制度を參酌して急遽發布せるものなれば實地施行に於て多少の不便を免れざるは已むを得ざる次第なりとて之が爲め度支部當局は既往の經驗に鑑み同法改正の必要を認め韓國の現狀に適應せる法文の制定を爲さんと目下調査中なる由

●統監府の豫算と新經費（韓國政府へ立替金）　統監府來年度の豫算は經常臨時を合し約六百萬圓にして其內韓國政府への立替金を含む新經費中には小學教育補助費四万圓を六萬圓に增額し統監府立中學校經費經常三萬圓臨時部十六萬圓北韓三角航路補助等の費目を計上しあり此他司法權委任の結果司法部に要する經費三百四五十萬圓の豫算也と

●地方慣習と行政改善　地方行政の改善は地方費に俟つこと多きは素よりなるが一は風俗慣習等にも依ることあるべし而して地方道路は由來國家が之を經營したることなく地方人の經營其例多くあるを以て學校等も之と同じく地方の慣習に從つて刷新の法を執るの外なく內部も目下慣習に就き調査をなしつゝあり

●韓銀創立委員會期日　韓銀創立に對する日韓兩政府の覺書は別項記載の如く本十六日の官報を以て發表したるが之と同時に創立委員も東京に於ては公表せられし筈にて度支部には未其人名の通知あらざる由なり而して第一回の創立委員會は來る廿三日永田町大藏大臣官邸の韓銀創立事務所に於て開かるべしと云ふ

●法權實施と豫算內容　司法權實施に要する統監府の豫算は既報の如く二百五十萬圓乃至三百萬圓の豫定なりし處過日來統監府に於て各參與官等會議の上種々詮議の結果地方及區裁判所の增設、判檢事增員に要する俸給等に依り三百四五十萬圓に增額すべき見込なりと

●府立中學校新設計畫　統監府にては中學校を新設する筈にて別項の如く來年度の豫算に計上しあるが中學校以上の學校は其設備經營の上よりいふも官立として完備せしむる方適當なるを以て當局者は現今の民團立中學校を官立として整頓せしむる希望を有し居れるも都合に依りては新設するに至るべきや未だ確定せずと

●地方費賦課稅の加率　地方費の賦課目加率は內部度支部に於ては大体の意見一致したるも道書記官及財務官の意見は未定なるが結局市場屠牛典當の三稅は變更なかるべしと

●鑛業權許可件數　農商工部より鑛業權許可されたるもの左の如し

▲金鑛　咸南道安邊郡下道社九十四万坪　京城日の出町田村龜太郞　▲黑鉛　平北道龍城郡十一萬坪　京城永樂町鈴木延吉外二名　▲黑鉛　同道朔州郡六十五万三千坪　同上鈴木延吉

●地方官資格審査　十六日內部にて地方官資格審査を開き決員中の郡守七名に對し任命することゝなれり

●韓字新聞の押收　大東共報五十九號新韓民報百四十一號は治安に妨害ありと認められ十六日押收せられたり

●沃溝府尹の任命　從二品安基鉉は沃溝府尹に任せられ奏任官二等に敍せられたり

●韓國銀行の覺書（昨十六日發表さる）　韓國銀行に關する覺書は嚢きに報導したる七月廿六日付を以て今十六日發表されたるが其覺書左の如し

覺書

日韓兩國政府は韓國銀行設立に關して左の條款を協定す

第一條　韓國政府は韓國銀行を設立して此に兌換銀行券を發行する權を與へて韓國中央金融機關なる業務に從事する外に日本銀行の委託を行する時は日本國國庫金の處辨をなすことを

第二條　株式會社第一銀行の發する銀行券は韓國銀行の發行する者と認識して韓國銀行は其銷却義務を繼承する者なり

第三條　韓國銀行の株式は日韓兩國人を爲限して此を所有するを得ず

第四條　韓國銀行の重役は現今間日本人を以て此に充つ

第五條　韓國銀行は韓國政府所有株以外の株式に對して利益配當が百分の六の割合に達するまでは韓國政府所有株に對して利益配當するを不要

第六條　韓國政府は韓國銀行創立後五個年間は同國政府所有株以外の株式に對して年百分の六の割合に利益配當を保證する者とす

右覺書日韓文の二通を作成して此を變換し後日の證據となすため記名調印す

明治四十二年七月二十六日　統監　子爵　曾禰荒助

隆熙三年七月二十六日　內閣總理大臣　李完用

●安奉線工事の模樣（急速に進行中なり）　安奉線の工事は別に支障なく豫定通り進行し居れる由にて全線中の最難工事たる福岑嶺の『トンネル』七十鎖と蘇家屯以東大哩標順線の分岐點渾河堡以東の廣軌となすの工事は最も急速進行しつゝあり何は日を追ふて新に工事に着手せんとする處も豫定しありて漸次之に從事する筈なるが附近用地の買收は支那人の本性を發揮し金さへ遣れば何の苦情もあるなく却て向ふより申込むと云ふ有樣にて支那政府今後の態度は固より測り知る可からざるも我が政府の命令の下に豫定の如く工事を進行し居れりと云ふ

●韓國鐵道の將來（尨大を要の要なし）　世間往々韓國鐵道の施設膨大なるを議するものあり成程三呎六吋餘の廣軌式は常に輸送力に過大の剩餘を生じ韓國の現狀に照しては經濟上極めて不利なるが如き觀なきにあらざるも是は議者の管見に過ぎず本國鐵道の如き當初は遠慮を缺きし結果噬臍の悔を今日に遺せしに非ずや韓國今日の鐵道は半島を縱斷する運輸機關の大樞軸にして又安奉線改築と相俟ちて東西兩國界を連絡する大軌線なり殊に韓內地との運輸も漸く好況に向はんとしつゝあるを以て想を將來に走する時は毫も其尨大を憂ふるの要なしと某當局者は熱心に辨明せり（日韓通信）

●各銀行會社上半期概況（十一）

韓國實業株式會社

取締役會長　鎌田勝太郞

專務取締役　瀨尾[illegible]

資本金　三十萬圓

積立金　二萬八千二百圓

當季利益金　五万三百五十六圓餘

利益配當　年一割八分

貸付金　十九萬千五百余圓

●上半期營業景況　京城支店は前期に於ける各地暴徒の影響は本期に入り依然として經濟界不振に陷入らしめたると昨秋以來米價下落の爲に一般地方民の購買方非常の打擊を蒙り益々萎微振はず之が爲に營業上少なからざる苦痛を感じ豫期の利益を擧る能はざりしと雖も前期に比して成績の敢て下らざるは如何に當業者が奮勵せしかを見るに足るべし、木浦支店は前期に引繼き本期末迄に水田四百十七丁步余畑三百七十四丁步余其他柴池溜池等合計にて殆ど八百丁步を買收し尙進で買收を繼續しつゝあり買收地は小作人に貸付耕牛卅七頭を買入て其耕耘を助しむ其他土地を抵當として貸金をなしつゝあり小作徵收米は暴徒橫行の爲に其成績如何を懸念せしも監督を誤らざりしを以て査定額百分に對する九十九弱を徵收したるは頗る良好の成績なりと云ふべし、是に依りて見るも韓國に於ける農業が如何に有望なるかを知るに足るべし

●昨今の冷氣と降雨量　本月上旬は例年になき高溫を呈し殊に京畿地方は所により百度に達せしが去十二日琉球北部に久しく停滯せし低氣壓は移動し始め當地に於ては北東風强く午後一時より降雨し十四日日沒頃稍晴模樣ありしも再び深厚なる低氣壓濟州島附近に來襲せし爲め再び降雨斷續して十六日午前六時に至る約四日間に於ける降水量は一坪に付一石一斗の割合にして其間日々氣溫下降し最高の如きは十五度內外低落し朝夕冷氣を催せり

●韓鐵と滿鐵賃率比較　韓國の鐵道賃は本國に比し稍や高値なる如きも經費上勢ひ同一の取扱を容るさざるものあるを以て多少の差等を設けられたるものなるも遠距離に於ては却て韓國の方低率にして殊に之を南滿鐵道の一哩二錢六厘に較ぶる時は韓鐵は二錢四五厘にして却て一二厘方の低率なりと

●仁川丸の北韓新航海　近來北韓方面に對する吾が軍隊の往來は次第に頻繁となり從來の輸送力にては到底其用を充たし難きに至れるを以て今回陸軍御用船仁川丸を該航路に使用する事となり愈々明十八日より初航を開始すべしといふ

●築港期成委員會開會　仁川築港期成會にては昨十六日午後八時より仁川民團樓上に於いて請願委員會を開き期成會規定上京委員の當局訪問經過報告及今後の運動方針に就き協議する筈なり

●內部の龍山元町修繕　龍山元町の鄰道は內部にて修繕することゝなり十六日より着手したるが該道路は元來公道にあらずしてコールブランの私設に係るものにして今後は內部の所管となす筈也

●龍山民團と瓦斯會社　龍山民團にては兼て交涉中の瓦斯管埋設道路使用の件に就き曾禰瓦斯會社營業部長の訪問ありたるを以て十四日臨時協議會を開き今一應會社と交涉するに決したり

●石井統監附武官着任　石井統監府武官は十六日朝入京戶波武官小松兒玉書記官、菊池局長、憲兵將校其他多數の出迎あり直ちに武官官舍に入れり

●一進會の創意紀念會　一進會にては來る十八日午後一時より第五回紀念禮式を竹洞事務所內に催す筈にて朝野の紳士に向けそれ〳〵招待狀を發せりと

●大久保司令官北韓行　大久保軍司令官は此際北韓地方及間島方面巡視の必要ある爲近々出發の事に內定の由

●兒玉書記官出發延期　今十七日出發の豫定なりし兒玉書記官は書類取纒の都合により十九日出發に延期せり

●圍碁講習會開催　本因坊高弟高部道平氏（四段）の來京を機とし長山乙介氏會主となり小松、本田の兩氏贊助員となりて本月十八日より向ふ一ヶ月間京城婦人會會場に於て圍碁講習會を開催する由なり會費は三圓にして何人も出席差支へなしと云ふ

●鴨綠江浮標設置　昨年十一月關稅局告示第五十四號を以て鴨綠江浮標撤去及假浮標新設の旨告示したるが今回假浮標を撤去し浮標及陸標を設置する旨十六日公表す

●憲兵所長の任命　杉山憲兵中尉は京城本町分遣所長に村田憲兵中尉は同筆洞分遣所長に何れも昨十六日任命されたり

●佐竹秘書官病狀　病氣引籠中の同氏は稍々輕快せるを以て二三日中に出勤する由

●山本大朝子歸京　安奉線視察中の大朝京城特派員山本桃洲氏は十六日夜歸京の筈

●藤波通譯官歸任　上京中の同氏は昨夜歸任せり

●巨智部氏令息訃　前農商工部技監巨智部博士令息（四男）龍氏は去る十日死去す

公人私人

▲山內精（農商工部技師）十五日釜山へ向ふ

▲佐々木文一（衆議院議員）同日平壤へ向ふ

▲久米良作（日韓瓦斯重役）同日釜山へ向ふ

▲大橋綠之輔（公州裁判所判事）十五日入京

▲柏原孫四郞（檢疫所檢疫官補）釜山へ急行

近事片々

▲韓國の面積は一萬四千百七十四方里也

▲此邦土を開發するは將さに帝國の責務也

▲反別二千二百四萬三千餘町步也と然る

▲に在留邦人は僅々十五六万とは餘りに少し

▲山禿げ水涸れ荒廢せる多の土地ある也

▲邦土を立派なる豐穰の地となす奮發を要す

▲此邦土に韓人々口千萬人餘少くも日本人を五百萬人位は移殖するの必要あらんか

▲東拓會社は將さに此使命を奉ずるものあるに一向手緩き遣り方にて埒明かざる也

▲現在の模樣にては五百万人は愚か十萬の移民を容るゝには容易ならぬ困つた者也

▲外務大臣も滿韓に移民を集中することを宣言しながら今は殆ど忘れたるの觀あり

▲帝國の滿韓經營には列國も決して故障なし況や韓國に於てをや須く大發展を要す

▲韓國銀行設立に關する覺書は發表せらる風說せられし所と大いに違ふ所なし

▲司法權委任と共に是れにて公伊藤の韓國の仕事も一段落を告ぐ此上は實施肝要

▲地方巡回中の明石參謀長馬山より直に間島に向て出發せりと此際間島行は甚好矣

▲大久保大將も亦近きに北韓及間島を視察せらるとの事也是非大將の出遊を促す

▲事情鮮明ならざる爲に種々の誤解を生ず大將及參謀長の視察に依て誤解を解かむ

▲兎角に韓人等は事を誇大に言ひ觸らして平地に波瀾を起したがる甚だ困つた奴共

▲滋賀縣に大地震あり人畜の死傷潰家も甚だ多くして慘狀目も當られずと悲慘の至

▲伊吹山之が爲に亦崩壞せりと天何ぞ災禍を下すことの多きや[illegible]事にこそ

▲先年は尾濃の地に大震災あり今又隣地の近江に此災厄あり何ぞ彼地方に[illegible]多きぞ

▲無線電信の發明者マルコニーは今度亦音波器の發明に從事しつゝありと豪いかな

▲音波器とは電話の談話が音波の作用により文字となり紙上に現はるゝもの也と

▲伯林にては望遠鏡で寫眞を取ることを發明せりと歐洲の發明界は愈々以て隆盛也

東京電報

[illegible]度支部事務官幹事に任命されたり（十六日）

[illegible]印を爲す筈なり（十六日發）

▲露國勘薩加經營　露國はペトロパウ[illegible]其徵收方を民團に囑托したりしに民團にて[illegible]は民會を設けて[illegible]ることゝなり民長は承諾の旨を理事官に答[illegible]

●賊魁金洙敏の捕縛

▲夜陰に乘じ妾宅に踏込

長湍を根據とし黃海道は開城市邊里兩合里京畿道は陽州高陽鐵原等に盛に出沒し官憲の網をくゞり幾多良民を苦しめたる賊魁金洙敏は遂に八月十二日筆洞（本町八丁目）分遣所の手に捕縛されたる狀況を聞くに九日村田分遣所長の諜者が金の部下のもの陽州郡の某所に隱れ居る旨報告し來りたるを以て村田中尉は直ちに部下を陽州郡に派し之を捕縛し首魁金洙敏の所在を訊問したるに知らずとのみにて事實を語らざりしが彼が知り居るに相違なき旨の報告再び來りしを以て村田中尉は嚴重に訊問したるに遂に包み切れず高陽郡下道面花田里（京城を距る四里）に潜伏し居れる旨自白したるを以て十二日上等兵二補助員一を派し自今は彼等の密偵多きを慮り特に夜の十一時夜陰に乘じ同人の妾宅にありて三人にて飯食中なる處を踏込み金及外一名を捕縛し他の一名は反抗し來りたるを以て已を得ず之を殺害し拳銃一彈藥二十發暴徒名簿一冊十三道倡義總督の印（未製品）一を押收したるが暴徒名簿には百四十餘名の血判ありて大に暴威を振はんと計畫の如く又十三道倡義總督の印に就き彼の言ふ所によれば許蔿已に亡く李殷讃も龍山警察署の爲捕縛され死刑に處せられたる今日十三道中總督たる人物は乃公を置て他になしとて自ら倡義總督になり濟ましたるものなりと因に彼か妾は開城の生れにて十八才になり且つ妾宅に七才になる實子同棲し居たりと云ふ

●又々仁川紳士の賭博

▲旭屋旅館の落花狼籍

仁川署の三刑事が去る十五日午前九時頃某事件調査の爲め濱町一丁目旭屋旅館に至り直に階上に登りたる所室內の模樣何んとなく變な所ありしが同旅館は市中にて有數の旅館にて知名の宿泊人もあることとなればウカとは室內に入ることもならざる儘廊下を彼方此方と徘徊する程に第七號室の方に當り唯事ならぬ物音の聞ゆるにぞ刑事は直樣其の方面に眼を轉じたる所布團は翻ふ茶碗は飛ぶてう落花狼籍酷くするゝ中同七號室より仁川紳士某々等慌てふためきて刑事に挨拶もせず廊下を飛び下り何れにか姿を隱したる由なるが後に刑事が同七號室に闖入したる所花札を發見したるも現場を押へたりと云にあらねば其儘になし追跡せざりしと

●女優志願者の四苦兇

▲揃ひも揃つた色餓鬼共

遥々韓國の果て迄來て如何に零落たりとせ賣春婦に身を落すよりは神聖なる藝術の見となるに如かずと大した抱負でも何んでもなく浮氣が爲たさと仕事が嫌いな爲めでもなく女優志願と出掛けたる當世式のお轉婆あり原籍は預り本名は綾野雅子と云へる者にて先月末のこと歌舞伎座に興行中なりし彰義隊一座に加はらんと申込みたるも彼れの希望は眞心より出てたるに非ずして一時の思付きなりと見て取りたる座長の愛澤は体能く之を跳ね付けたれば彼れは其足で直ちに京城座に至り希望の趣き述べければ過般來幹部連の分離と共に人氣落ちたる際とて二つ返事で承諾しければ雅子は茲に宿望成就し其翌夜より舞臺に大きなれ尻を現はし居たるが能く〳〵臼大の尻振りや宜かりけん數多の座員共は吾先きに雅子を手の中に入れんと附廻したる結果下廻りの横田と云へるが口說き落して目的を遂した迄は宜かりしが戀に失敗せし他の座員共は早速此事を幹事の瀨川と云へるに告げければ瀨川は密かに雅子を呼び意見を加へたるに根が俳優を志願する位ひの女なれば中々意見等を聞くべき筈なくハイ喰付きました其れがドツしたのです是れも自然主義の研究です等と誤託を並べ立てたれば瀨川は大に立腹し横面一つポカリと計り張り倒して其儘お拂に箱を喰はしたるに仲の横田とは今以て頻りに逢瀬成し居れば近々駈落とでも洒落込むならんとの噂高し

●京城の碁界

低氣壓、警報扨は此頃の天氣は全く相撲殺しである、同情に堪へぬは勸進元であるがさりとてドウにも致方が無いのである、併し茲に晴雨に拘はらず而かも相手さへあれば晝でも夜でも何時でも遊べる遊びがある、夫は外でもないが烏鷺の戰である、我京城烏鷺界の今日は甚だ失禮ながら一の中心たるべき御大將を有せぬ委敷云へば未だ一の名師に因つて統一されて居らぬ故に無名の旅黨アチラコチラに派を成し黨を樹て勝手な石を打つて我こそは韓本なりと鼻蠢めかして居るのである、尤も韓本と云へばとて韓國本位と云ふ義にはなく實は韓國本因坊を氣取つて居るのである、見渡すところ大將はなくも道かに驍將はありでまづ筆頭に現はるゝは何と云つても長山乙介君である、聞く伊藤前統監は本物の秀榮にさい白を擱んだソウだが長山君には常に三目を置いて熱心に稽古をせられたソウである、今は舊坂本座の附近に碁席を開ける水原慶夫君は實力に於て長山君と伯仲の間柄だソウで此の二人者は慥かに有段の直打はあるソウである、下つて伊藤、松田はては龜井、片岡、伊勢、駿河と勇士は澤山あるが未だ嶄然頭角を現はす程の先生はあまり多く見當らぬ樣である、何は兎も角盤面に於ける攻城野戰は淸新なる遊の上乘なるものである、天下の荒君願はくは良き師を得て益々熱心に勉强せられんことを、附記す韓人中にも可成の名人もある樣子だが時々日韓合同の競技會を開く樣にしたいものである。

●淸月樓の新妓

橫濱市吉濱町十五番地平民庄太郎孫湯川ひさ二十三年生は朝妻と名乘り▲同市元町四丁目百六十二番地平民ちか私生長女山谷すみ二十一年生は住の江と名乘り▲神奈川縣高座郡寒川村岡田千五百六十七番地平民貞吉妹三留さよ二十一年生は菖蒲と名乘り▲同縣足柄下郡大窪村入生田二百八十一番地平民倉次郎長女秋山ひで二十三年生は力彌と名乘り淸月樓抱へとして本日より娼妓可仕候

●勝利拍子の仕替

仁川淺岡樓に婿名を稱へし勝利事東京牛込區牛込通り寺町七十二番地長島ちやう（三六）は昨日より名も勝利を其儘花月樓に現はれたり同妓は曾て吉原引手茶屋伊勢松にて藝妓稼業中仁川に來りし者にて長唄は其最も得意とする處也

●一拍子のお灸

淸月樓の文の助は八月七日午後八時頃其筋の許可を得ずして旭町二丁目不知火旅館止宿中の某舊且の許に至り泊り込んだ迄は宜かつたが此事警官の知る處となり科料一圓五十錢に又同樓の桃太郎は八月九日午後八時二十分頃是れも其筋の許可なく本町九丁目へ出懸けて科料一圓に何れも昨日南部署に於て言渡さる

●漢江出水の模樣

昨年の洪水に心膽したる龍山市民は先日北韓の出水あり此數日の雨は漢江の汎濫を來さずやと一方ならず心痛せしも幸ひにさしたることもなく僅かに五尺餘の增水にして江水多少の黃濁を帶ぶるに止まりたりき

●三人組の强盜

本月十二日午後八時十分頃中署內相洞五統四戶强在明方へ三名の强盜押入り家人を縛し短刀及短銃を以て脅迫して現金十二圓及ニッケル側懷中時計外十三點此價格四十三圓餘を持ち去る

●郵便護衛兵溺死

十三日載寧を發し海州に向ひたる郵便護衛兵二名は載寧の南方二里の淸水里河に溺水し一名は辛して救助したるも一名は行衛不明となれるか郵便物は無事載寧に引返したり

●不賴漢の横行

近來安東縣義州方面より土方風の無賴の徒多數入込み殊に龍山櫻町元町二丁目及當地南大門外に多く徘徊し居る由其筋の取締りを望む

●科料一束

南大門通三丁目十一番戶島田繁（三七）は八月九日午前十一時五十分街路に於て裸体となり居りて科料二十錢に▲壽町一丁目五十九番戶表具師住道元平（三九）は八月十日午前十一時頃同所にて袒裼したるため科料二十錢に▲本町一丁目五十三番戶飮食店小畑柳藏（二六）は八月五日午後十一時頃裸体のまゝ店頭にありし爲科料二十錢に▲明治町二丁目十六番戶活版業奈良宗次（三九）も同日午後四時十分裸体にて作業して科料二十錢に▲同町一丁目二十三番戶飮食店大楠國吉（五〇）は無屆にて七月十日以來氷販賣せし廉により科料五十錢に各處せらる

●仁川酌婦の檢黴

仁川市中の酌婦の身体檢查は去る十五日勵行なしたるが總員四十七名の內入院者一名洗滌を要したるもの七名ありたり

●盜難二件

昨十五日午前七時三十分より同八時迄の間に當地新町二十五番戶の十二の七大工職田中豐太郎方へ忍入金二圓二十錢を同日午後五時より六時迄の間に本町一丁目八十六番戶小島廉之助は永樂町二丁目永樂亭の庭先に於て洋傘一本を各盜難に掛り目其筋へ届け出づ

●不正ラム子の處分

明治町三丁目居留ラム子受賣商青木三次郎方の店頭にて販賣せる龍山松元藤次郎製造に係るラム子十本は警官に不良と認められ放棄せしめ且つ將來を戒めらる

豫告　民長候補者の投票

吾々居留民の信賴厚き熊谷現民長は來る十二月を以て任期滿了し續いて官選民長の選任を見る筈なるが、多士濟々たる目下の京城なれば統監府に於ても元より新民長の輸入を爲すが如き事無きは吾人の信ずる處なりされば本社は是等居留民中より民長としての適任者三名を限り大方讀者の投票を以て候補者を定め當局者の參考に供せんとす詳細は追て發表すべし

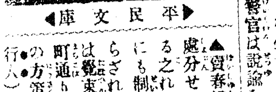
京城新報社

●遺失物の屆出

仁川新町三丁目牛肉商山口與一と云ふは一昨日本町より宮町一丁目に至る道路にて金十圓入りの財布を遺失し最寄派出所に屆出たり

●釣師に說諭

仁川京町高橋某と云ふは一昨日雨中濱町海岸にて釣居たるが色青褪めて今にも往生せんとする模樣なりしかば巡行中の警官は說諭を加へて歸らしむ



◀平民文庫▶

▲賣春婦を罰して相手の男を處分せぬのは甚だ不條理である之れは如何しても買淫野郎にも制裁を加へねばならぬ然らざれば到底彼等社會の矯風は覺束ない（太平洞人）●●▲支那町通りの道路は何んとか修繕の方策を講じて可なりだ（通行人）●●▲電話交換局の入口右隅の窓口に居る背の高い鼠色の服を着て居る奴は僕の架設願の書き方が間違つて居るとかで目の玉の飛び出る程叱り飛ばした、僻自分が敎へた通り書いたのに不都合極まる奴だ（小男）●●▲擔荷軍が狹隘なる街路を彷徨せるは交通を妨害する甚だしいものである何んとか取締の方法を設くる必要がある（●●●醉玉）▲龍山の民團議員連は新聞使ひが荒い割に使ひが小かいので閉口だよと電車の中で探訪らしい男同士で話して居たが果して事實かしら素人には判らない（一樓花生）▲司法權を委任した以上は司法警察權も日本の手に歸せざる可らず僕は思ふ警察官は總て日本人のみにして韓人の警視警部は全く必要なきを以て至嚴するに如かず其の日語を解するものは通譯として使用すべし然して警察權は全然日本人をして行はしむるを正當なりと思料す（東門外史）●●●▲荷役韓人巡査は巡査補として使ふべし日本巡査と同一に爲し置くは甚だ不可なり僕は將來に於て僕の此の言の實行せらる可き時期あるを確信するものなり（同人）●●▲京城日報の三圓の活動は滑稽た釜山へ行つたのに滊車賃は何うしたのでしよう眞似れは誰れにも出來る樣なのでなくては困る汽車賃は別さなぞは感心しないのみならず知人の所を食い荒すのも活動の內に入れては困る（乞食旅行者）▲二百十日も近いことだが何うか無事であつて欲しい（土百姓）▲暑い暑いと云つて居た間にモウ寒いと云はねばならぬ樣になつた白地の浴衣では氣恥かしくて步行けない徐々れ藏へ入れ換へと出掛けざる可らず困つた〳〵（閉口子）



●一口噺

奧さん京城日報を見ながら「今度大和町の新聞社では三圓の活動を始めたが大層面白さうだてこと」傍に聞て居た下女が「オヤマア大變不廉のですネ－大概それでは機械や寫眞は舶來の上等なんでせう」

●天氣豫報（自十六日午後六時至十七日午後六時）

北西の風曇

十五日（華氏）　最高溫度　七、三六　最低溫度　七、〇七